

脱・ワンワード！

E-3

～自分の意見や気持ちを言葉で伝えられる子供に育てるために～

子供が成長するにつれて、子供も親も互いに使う言葉を一言で済ませたり、とても短い文章で伝えたりすることはありませんか？

ここでは、親の言葉掛けや、子供の発する言葉や文字について考えてみましょう。

エピソード

今日の夕食は、あさ子さんの大好きなハンバーグです。

母：「今日のハンバーグ、味はどう？」

子：「ヤバイ。」

母：「ヤバイって、どうして？」

子：「だって、ヤバイんだもん。」

母：「それなら、もう食べなくていいわ。」

お母さんは、気分を害してしまった様子です。

ワーク 1

① エピソードを読んで、気付いたことを書いてみましょう。

② グループで紹介し合いましょう。また、自分の思いを正しく伝える工夫を話し合ってみましょう。

ワーク 2

子供がよく使う言葉が短すぎて、誤解が生じることはありませんか？
子供が自分の気持ちを伝えるとき、親としてできることを考えてみましょう。

① お子さんがよく使う一言や短い文を書き出して、グループで話し合ってみましょう。

② 御家庭の中でこれまでに、言葉が誤解されたり、気持ちがうまく伝わらなかったりした経験
はありますか。グループで出し合ってみましょう。

ふりかえり ～本日の講座はいかがでしたか？～



☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか？ 自由に書いてみましょう。

【手引き】

E-3

脱・ワンワード！

～自分の意見や気持ちを言葉で伝えられる子供に育てるために～

子供が成長するにつれて、子供も親も互いに使う言葉を一言で済ませたり、とても短い文章で伝えたりすることはありませんか？

ここでは、親の言葉掛けや、子供の発する言葉や文字について考えてみましょう。

エピソード

今日の夕食は、あさ子さんの大好きなハンバーグです。

母：「今日のハンバーグ、味はどう？」

子：「ヤバイ。」

母：「ヤバイって、どうして？」

子：「だって、ヤバイんだもん。」

母：「それなら、もう食べなくていいわ。」

お母さんは、気分を害してしまった様子です。

【ポイント】

エピソードを読んで、「ヤバイ」と言ったあさ子さんには、悪気がなかったことに気付いてもらいましょう。

ワーク 1

① エピソードを読んで、気付いたことを書いてみましょう。

5分間

【例】

- ・うちでも同じようなことが原因で、気まづくなったことがある。
- ・思いや感情を何でも「ヤバイ」などの一言で済ませようとする傾向がある。

② グループで紹介し合ひましょう。また、自分の思いを正しく伝える工夫を話し合ってみましょう。

10分間

【ポイント】

子供が気持ちや事実を言葉で正しく表現できることは、とても大切なことです。ふだんの生活の中でも、言葉の使い方に気を付けていきましょう。

ワーク 2

子供がよく使う言葉が短すぎて、誤解が生じることはありませんか？
子供が自分の気持ちを伝えるとき、親としてできることを考えてみましょう。

15分間

① お子さんがよく使う一言や短い文を書き出して、グループで話し合ってみましょう。

【例】 「ヤバイ」 「べつに」 「ムリ」 「いい」 「は？」 「ウケる」

【ポイント】

子供が短い一言で済ませようとしたときには、「それはどういう意味で使ったの？」と聞き、詳しく伝える習慣を付けさせましょう。「は？」や「ウケる」、「ヤバイ」などの言葉は、相手を嫌な気分にならせてしまうことがあります。

② 御家庭の中でこれまでに、言葉が誤解されたり、気持ちがうまく伝わらなかったりした経験はありますか。グループで出し合ってみましょう。

10分間

【例】 子：「お母さん、それ取って。」

母：「はい、お皿。」

子：「お皿じゃないよ、おしょう油！」

子：「こぼしちゃった。お母さん、雑巾。」

母：「お母さんは雑巾ではありません。」

ふりかえり ～本日の講座はいかがでしたか？～



5分間

☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか？

【まとめ】

自分の気持ちを伝えるときに、相手が嫌な気持ちにならない工夫も大切です。

親の言葉掛けや子供の読書体験などで、語彙が増えます。語彙を増やし、正しい言葉を使えると、コミュニケーション力が身に付きます。